

陳 情 書

令和7年6月9日

竹原市長
今榮 敏彦 様

陳情者 所在地 竹原市中央3丁目7-1
氏 名 竹原商工会議所たくみ部会
部会長 今榮 康彦



件 名 受注機会の拡大及び設計単価のスライド条項の運用適正化、
地元加点制度の創設並びに応札優先枠の設定について

陳情項目

1. 受注機会の拡大
公共事業における発注件数の増加や、地元業者が参加しやすい案件設定などにより、地元事業者の受注機会を積極的に拡大していただきたい。
2. 設計単価のスライド条項の運用について
国・県の制度と同様の水準となるよう、実態に即した柔軟かつ迅速な対応を行っていただきたい。
3. 地元加点制度の創設
市内業者に対する評価加点制度を導入し、地元業者の競争力を高める仕組みを構築していただきたい。
4. 地区ごとの応札優先枠の設定
工事・業務の種別や地域特性に応じて、地区ごとに応札業者の優先枠を設けるなど、地元企業の受注機会の拡充を図っていただきたい。

陳情の理由・経緯等

昨今の社会情勢により民間投資は不透明さを増しており、地域経済は大きな影響を受けています。このような状況下では、公共事業による力強い下支えが不可欠です。

しかしながら、竹原市内においては、業者数に対して入札物件が極端に少なく、地元事業者にとって受注機会が十分に確保されているとは到底言えない現状にあります。この状態が長く続けば、地域企業の移転・統廃合・廃業といった問題が現実化し、地域社会への影響も避けられません。

また、現行のスライド条項の運用については、国や県と比較して不十分であり、資材価格や人件費の高騰に対応できず、事業者の経営を圧迫しています。さらに、市外業者との競争が激しさを増す中、地域企業が持続可能な形で受注を確保できる制度設計が必要不可欠です。

私たち地元事業者は、発注機会の拡大と公平な競争環境の確保を強く求めています。つきましては、上記の陳情項目について、十分にご検討とご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

陳 情 書

令和7年6月9日

竹原市議会
議長 高重 洋介 様

陳情者

所在地 竹原市中央3丁目7-1

氏 名 竹原商工会議所たくみ部会

部会長 今栄 康彦



件 名 受注機会の拡大及び設計単価のスライド条項の運用適正化、
地元加点制度の創設並びに応札優先枠の設定について

陳情項目

1. 受注機会の拡大
公共事業における発注件数の増加や、地元業者が参加しやすい案件設定などにより、地元事業者の受注機会を積極的に拡大していただきたい。
2. 設計単価のスライド条項の運用について
国・県の制度と同様の水準となるよう、実態に即した柔軟かつ迅速な対応を行っていただきたい。
3. 地元加点制度の創設
市内業者に対する評価加点制度を導入し、地元業者の競争力を高める仕組みを構築していただきたい。
4. 地区ごとの応札優先枠の設定
工事・業務の種別や地域特性に応じて、地区ごとに応札業者の優先枠を設けるなど、地元企業の受注機会の拡充を図っていただきたい。

陳情の理由・経緯等

昨今の社会情勢により民間投資は不透明さを増しており、地域経済は大きな影響を受けています。このような状況下では、公共事業による力強い下支えが不可欠です。

しかしながら、竹原市内においては、業者数に対して入札物件が極端に少なく、地元事業者にとって受注機会が十分に確保されているとは到底言えない現状にあります。この状態が長く続けば、地域企業の移転・統廃合・廃業といった問題が現実化し、地域社会への影響も避けられません。

また、現行のスライド条項の運用については、国や県と比較して不十分であり、資材価格や人件費の高騰に対応できず、事業者の経営を圧迫しています。さらに、市外業者との競争が激しさを増す中、地域企業が持続可能な形で受注を確保できる制度設計が必要です。

私たち地元事業者は、発注機会の拡大と公平な競争環境の確保を強く求めています。つきましては、上記の陳情項目について、十分にご検討とご配慮を賜りますようお願い申し上げます。